

「令和 6 年能登半島地震」への対応

1 月 1 日 16 時 10 分、奥能登を震源域とする、M7.6 の大きな地震がありました。

富山県内でも全域に渡り大きく揺れ、特に氷見市では被害が拡大しました。

関係役員で協議するとともに、1 月 2 日午前 9 時県医師会災害対策本部を設置し、第 1 回本部会議を開催しました。

会議では参加役員からそれぞれの状況を報告してもらうとともに、情報収集に努めること、過去の災害対応を確認すること、第 2 回を郡市医師会長を含めた拡大本部会議とすることを申し合わせました。

また、1 月 2 日夕には松本日本医師会長より今後の方針についての連絡がありました。

1 月 3 日は参加可能な郡市医師会長および役員による第 2 回拡大本部会議を開催させていただき、各地域の情報を共有するとともに JMAT 派遣を含めた今後の方針について検討いたしました。

報道などを見ますと、特に氷見市を中心に県内でもいろいろな施設の被害や、断水などの障害が発生しており、困難を強いられておられる先生方もいらっしゃるのではと心配しております。

今後、当県も県内に被災地を抱えながらも、大きな被災地である石川県能登地方の隣接県として、県内県外を問わず、災害に対する活動が必要とされます。また、余震もしばらくは続くと考えられ、警戒を怠ることはできないと思います。

県内の全ての先生方にはお気をつけいただくとともに、医師会の活動にご協力いただのたくお願い申し上げます。

2024 年 1 月 4 日
公益社団法人富山県医師会
会長 村 上 美 也 子